

社協だより

January 2021 No.105

# Beside you

... あなたのそばに ...

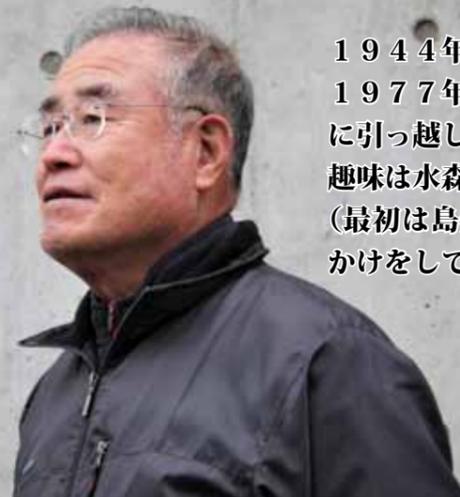


表紙写真：ふたば保育園  
ゆうぎ会



社会福祉法人  
大月市社会福祉協議会

1944年、大分県生まれ。  
1977年、仕事の関係で大月市に引っ越し現在に至る。  
趣味は水森かおりの追っかけ！  
(最初は烏倉千代子(故)の追っかけをしていた)



インタビュー Interview



【写真】賑岡地区社協が実施する買い物行楽事業の様子  
(内容：自家用車などがなく、公共交通機関の利用も困難な高齢者や障がい者を対象として毎月一回、買い物支援をするものです。店舗に出向き、自分の目で商品を選び購入する楽しさや外出する楽しみを目的として実施しています。)

地域活動の  
活性化と持続性

「地域福祉活動」を盛りあげ継続させていくために！

いま多くの地域では、役員の高齢化や世代交代、輪番制の課題などにより、地域の様々な組織の存続や活動の継続が心配されています。私たちの大月市においても、他人事ではないところです。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大がとまらず、地域における福祉活動などが、今までのように出来ない状況が続いており、実施方法の変更や工夫、今後の事業継続への点検などが必要になってきています。

また、近年の国における福祉政策においては、生活困窮者自立支援法の施行や地域包括ケアの本格的推進、平成30年4月には、地域共生社会の実現をめざす改正社会福祉法が施行されるなど、あらゆる福祉施策が、

地域の力を十分に活かした取り組みに比重をおいて進める、いわゆる地域福祉の志向を強めています。

このように、地域福祉の推進は、今後も必要不可欠なものであり、つながりある地域づくりを持続させていくために、コロナにも負けない！課題にも負けない！地域では、今後、そんな取り組みを図っていかなくてはならないのではないのでしょうか。

そこで、本号では、つながりある地域を創るため、事業の活性化と持続性のある取り組みを行っている、賑岡地区社会福祉協議会の事例を紹介させていただきます。

其々の地域において、今後、地域づくりを考えていくときの参考としていただきました。と思います。

賑岡地区社会福祉協議会の  
事務局長制！

大月市社会福祉協議会では、平成20年度に策定した第1次地域福祉活動計画より、地区社会福祉協議会の強化を掲げ、まずは社協職員による地区社協担当制を導入し、地域福祉の推進を強固にしていこうと、取り組みを進めました。

その後、第2次地域福祉活動計画（平成25年から5ヶ年計画）の中では、地区社協運営の組織体制強化への支援を掲げ、地区社協のリーダーとなる人材の育成に取り組んでいくこととしました。

そのような中、賑岡地区社協では、他地区のように活動の拠点となる出張所がないことや、会長が1期2年の輪番制などであることから、継続性ある地域活動への取り組みをしていくために、事務局長を担っていただける方を住民の中から選出し、地区社協の運営を進めていくこととしました。そこで選ばれた方が、現在も賑岡地区社協の事務局長をしている吉岡さん（写真上）です。

今回は、吉岡さんに事務局長として、どんなことをしているのか、やって良かったこと

などお話を伺い、どんな効果をもたらしているのか、探ってみました。どうぞ、ご覧ください。



「地域の役に立つなら・・・」

——賑岡地区社会福祉協議会の事務局長はいつから、どのようなきっかけで担うことになったのでしょうか？

「平成22年12月1日から平成25年11月30日までの1期3年間、賑岡地区の民生委員をしていました。色々と福祉のことや地域のことかわかり始めたところに任期を迎えたという感じでした。その時に、賑岡地区社協担当である市社協職員に、賑岡地区社協には事務局がないので、やっていただけないかと声を掛けられ、地域の役に立つならいいかと思ひ、平成26年度から引き受けることとしました。それから、私は、元々はこちらの人間ではないこともあり、民生委員をしている時から、このようなことを通じて多くの方と知り合いになれることは良いことだと思っていました。このようなことがきっかけです。」

「事務局長として、具体的にどんなことをしているのでしょうか？」

「まず、賑岡地区社協の会計を兼ねています。年間を通して、会計事務をしています。あとは、動くことが多いです。配布物としては、広報である賑岡地区社協だよりを、毎回、賑岡の区長と自治会長12名のお宅にお願いに歩き、賑岡地区社協の会議の欠席者への資料のお届け、赤い羽根共同募金の資材の配布、毎年大月東小の児童と一緒に花を植えたプランターの配布などがあります。あとは、会長が輪番制ということもあり、私はあくまで黒子役として、会議の進行や事業を一緒に進めさせていただいています。賑岡地区社協の事業である、お買い物支援については、運転手の調整等をし、調整がつかない時は、私が運転をしています。あとは、市社協等からの依頼について、各役員に連絡・調整するなど、その他、色々な雑用をしています。」

「色々動いていますね。そんな中で、苦労したなということはありませんか？」

「楽しくやらせていただいているので、それはあんまりですね。ただ、体が一つでなく、二つ三つあればいいなと思ったことはありませんね。」

「色々な方と知り合いになれることが私の財産」

「では、良かったことはありますか？」

「やはり、根っからの地元民ではないため、色々な方と知り合いになれることが、私の財産であります。また、市社協の担当者とも意見をぶつけあったこともありました。お互いに良い地域にしていきたいとの思いからであり、真剣に言いあえることは良いことだと思います。今でも、土台は市社協の担当者が作ってくれたものであると思っていますよ。」

「賑岡地区社協の会長さんは輪番制と伺いました。そのような中、会長さんの引継ぎや事業の持続性を考えると事務局長さんの役割は非常に大きいところがあるのではないのでしょうか？」

「どうでしょうかね。あまり考えたことがないです。私は、会長さんは2年間ということと非常に大変なお仕事をされていると感じています。1年目に事業のことや共同募金のことなど、全てのことを覚えるということは大変です。その辺りで、私はあくまで事務局なので、出しゃばりすぎず、一緒に取り組んでいることはしています。」

## 吉岡事務局長の存在とは。。。。

賑岡地区社会福祉協議会

会長 飯島 貞夫



吉岡さんが賑岡地区社協の事務局長に就任したのは平成26年4月1日です。その後、会長は4人変わりましたが、事務局長を7年間勤めています。事業の内容をよく理解し、各地域に足を運び、区長さんや民生委員さんとコミュニケーションを活発に行い、役員の皆様に厚い信頼を受けています。賑岡地区社協独自の買い物行楽事業については毎月1回、大月、都留、上野原、富士吉田、石和方面まで足をのびすこともあり、利用者に喜ばれています。これも吉岡事務局長が先頭に立って運転ボランティアをしているからです。

賑岡地区には集落が散らばっていますので、全体を回ってくるのは大変な時間を要し

ます。赤い羽根共同募金や賑岡地区で年間2回発行している広報誌の配布等も吉岡事務局長が当然のように行っています。

賑岡地区社協ではこれまで多くの事業を行ってきました。その事業の原動力となっているのが吉岡事務局長であり、円滑に回っていく要となっています。賑岡地区社協の事業が長く継続的に行っていける立役者として真に大きい力となっています。

大月市社会福祉協議会

賑岡地区社協担当 安藤 博行

賑岡地区社協の会長は、2年で交代しますが、吉岡さんが長年、事務局長をしていただいているおかげで、これまでの事業の経過などを踏まえて、会長と二人三脚となり継続的な事業運営ができています。

また、私は、昨年度から地区担当をさせていただきます。私が、賑岡地区社協のことを吉岡さんから色々教えていただきながら事務局運営をお手伝いさせていただいており

横で聞いていた賑岡地区社協の飯島会長が「すぐに全てを理解できないので、吉岡さんの存在は大きい。助かります。」とお話されていました。

「今後、賑岡地区がどのような地域になればいいかと願っていますか？」

「そうですね、共助を重んじることが出来る地域になってほしいです。困っている人がいたら、隣近所に声をあげていただきたいと思います。もっと、隣近所の付き合いが必要ではないかと思えます。是非、遠慮せずに声をかけていただきたいと思います。」

「お忙しい中、お話を聞かせていただき、ありがとうございました。」



「みんなで創る、みんなで考える 地域！福祉！」

今回の賑岡地区社協の事務局制のお話を伺わせていただき、事業の継続性や推進に大きな効果があることは大変良くわかりました。が、そこは少し違う気づきを得ることができました。

それは、1期でも民生委員さんや地区社協などの役員さんに携わった皆さんの「福祉マインド」を離さず、地域づくりの一端を担っていただけのような仕組みづくりができないかということでした。

「365人のボランティアさんを確保すれば、1年間毎日の活動でも、一人が1日ボランティア活動すれば成り立ちます。」という話を聞いたことがあります。少し気が楽になりませんか？考え方や伝え方で、大分、変わるものです。地域のことや活動に係っていく中でも、このような考え方が必要ではないかと、吉岡さんのお話を聞いて思いました。

今後、コロナ禍を抜けて、また活動が再開していったり、新しいかたちでの取り組みが始まったりすることと思います。「持続性ある地域福祉活動」について、みんなで考え、みんなで創りあげていきましょう！

# ありがとうございます ご寄付の報告

●皆様のご協力に感謝いたします。

(9月8日～12月8日受付分)

●寄附金  
 小山田信茂公顕彰会 一〇、〇〇〇円 / 岡部善幸・山田幸男  
 八〇、〇〇〇円 (敬称略)

●ペットボトルキャップ・使用済み切手・テレホンカード・牛乳パック・ベルマーク・プルタブ・アルミ缶など

杉本正文 / 大嶽典則 / 上中老人クラブ / 鈴木信男 / 小俣正美 / 進士正巳  
 清水一 / 井上修一 / 町田克子 / 駒米秀悦 / 小林秀子 / 小和田婦人学級  
 浄土真宗福泉寺 / 吉角務 / つゆくさの会 / 大月市バレーボール連盟  
 森屋心陽 / 鳥沢幼稚園 / 無辺寺 / 小林利枝 / (旬)萱沼製作所 / 小林栄子  
 福嶋照子 / 山梨信用金庫猿橋支店 / 小俣洋子 / 就労支援事業所めばえ  
 富士見台老人クラブ / 浅利ゲートボール愛好会 / 相馬義明 / ナーシング  
 ホーム猿橋 / 水越繁子 / 藤本昌男 / 大月カントリークラブ / 稲本正彦  
 中村律子 / 池川工業(有) / 梶原仁美 / 井上千代子 / 山下久子 / いきいきサ  
 ロンかつら / 飯島浪江 / 長谷川喜八郎 / 奥平晴斗 / 矢竹元生 / 和田松子  
 市川正則 / 奈良武則 / 小林保雄 / 天野里子 / 高速度路上野原料金所  
 小高正行 / 梁川町ボランティア協議会 / (株)サニクロ / 天野幸子 / 大月キ  
 リストの協会幼稚園 / ガールスカウト山梨県連盟第15団 / 上真木サロ  
 ン / さくら / 大月駅前清掃&協力者 / 高石昭子 / 坂本さつき / 富浜ボラン  
 ティア協議会 / 田中加代子 / 鈴木美知子 / (株)花田モーターズ / 中日本施  
 設管理(株) / よつてけよ上和田いきいきサロン / 西川美佐子 / 相馬春美  
 高島豪 / 相馬政江 / 天野キン子 / 坂尻あじさいの会 / 清水和夫 / 野呂瀬  
 護男 / 林博之 / 介護老人保健施設もくら / NPO法人こわけ福祉作業  
 所 / 小林清美 / 佐藤うた子 / 水越正和 / 公文式猿橋教室 / 太田自治会  
 散歩探訪 / 安藤千津子 / 鬼島龍平 / 下真木ふれあいサロン / 玉川直人  
 杉本文子 / 佐藤聡明 / 望月愛子 / 小川ミイ子 / 佐藤希代美 / 小俣一彦  
 幡野順子 / 皆川大造 / 富士リゾートカントリークラブ / 山田澄信 / 木馬  
 の会 / 杉本光男 / 久保田勲 / 北畑恵子 / お茶飲み会峰沢 / 杉本石油(株)  
 (敬称略)



# ボランティアだより No.70

## ボランティアセンターよりお知らせ

### 【重要】ボランティア活動保険における新型コロナウイルスの取扱いの改定について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ボランティアの皆様の活動にも大きな影響が生じていることと存じますが、この度、ボランティア活動保険の特定感染症に指定感染症（新型コロナウイルス）を追加し、補償の対象となりました。（2月1日に遡って保証します。）

—ケガ補償—  
 ボランティア活動中にボランティア自身が特定感染症に罹患した場合に補償します。（ボランティア活動中に感染したと保険会社が判断した場合に限ります。）

- 補償される保険金の種類
- 1：葬祭費用実額（死亡の場合、300万程度）
  - 2：後遺障害保険金
  - 3：入院保険金
  - 4：通院保険金補償区分 保険金額
 

葬祭費用	実費（300万円程度）
後遺障害保険金	1,040万円（限度額）
入院保険金日額	6,500円
通院保険金日額	4,000円



### 捨てないで！そのハガキ！その切手！

#### 書き損じハガキ・使用済み切手を集めています

市社協では、書き損じや未使用の官製ハガキ、未使用切手を集めています。集められたハガキは地域福祉活動に、切手やテレホンカード等は県内の福祉施設へ送り、活動資金等として役立てられます。

- 書き損じた年賀状や大掃除で片づけた郵便物の切手などを活動に役立ててみませんか？
- 期 間：令和3年1月5日（火）～2月26日（金）  
 場 所：大月市社協（総合福祉センター1F）  
 対 象：未使用・書き損じハガキ  
 未使用・使用済み切手（海外の切手も可、切手から1cm以上の余白残す）  
 未使用・使用済みテレホンカード、プリペイドカード

# 掲 示 板

## 真木地区社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染症の拡大がとまらず、地域における福祉活動などが、今までのようには出来ない状況が続いています。

これまで経験したことのない社会の変化に直面している中、真木地区社会福祉協議会では、地域の人が顔をあわせる機会がかなり減っている状況で、地域の一体感が薄れていかないかという心配などから、新たな取り組みとして「地区社会福祉協議会の広報紙」を発行しました。広報紙は、真木地区社協の活動などを紹介し、このことを通して「真木の福祉」について住民みんなが考え、コロナに負けない近隣住民同士の絆を深めていくことが出来るようにという願いをこめていきます。



## 稲のご寄附とボランティア活動の融合で

### お米をお届けするつもりができました！

令和2年9月、笹子町吉久保の小林元久様より、所有する耕作地の稲の寄附の申し出をいただきました。

大月市社会福祉協議会では、子どもから高齢者、障がい者まで切れ目のない相談援助活動を実施しており、その中には食料の支援をさせていただくこともあります。そこで、稲を刈って精米までして頂けるボランティアさんを募ったところ、初狩町中初狩の小林博様が引き受けてくださることとなり、小林元久様からのご寄附の申し出をお受けすることができました。

このことにより、とれたお米100キロは、社会福祉協議会等で相談支援させていただいてる皆様へお届けさせていただきます。

小林元久様、小林博様、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



【写真】  
稲刈りの様子  
(笹子町吉久保)



# 大月市老人大学 「第52期生」 募集のお知らせ

## 新しいライフスタイルを 老大と共に！

- 募集人数 限定500名
- 入学資格 市内在住60歳以上の老人クラブ会員
- 内 容 サークル学習(年15回程度)、全体学習(講演、音楽鑑賞など年5回) 遠足と修学旅行(隔年実施)、老大祭(年間成果発表イベント・展示)
- 学習場所 市民会館、総合福祉センター、大月区民会館
- 学習費用 年額8,000円(申込み時に払い込み)
- 募集期間 **令和3年1月20日(水)～2月20日(土)まで**に所属する単位老人クラブの会長にお申し込みください(地域に老人クラブの無い方は事務局にお問い合わせください)  
\*令和3年4月21日(水) 第52期入学式予定(場所:市民会館)



▲ダンス部発表会



▲学習日のフラダンス部

### 【18サークルと充実の講師陣(予定)】

園芸部	木原 吉郎	手芸部	杉本 まつ子	華道部	芳野 豊子
書道部	花田 龍溪	書道部	望月 大耿	詩吟部	(選考中)
舞踊部	東山 夢静	民謡部	今泉 あけみ	大正琴部	富田 昭二
囲碁・将棋部	小泉 皖司	茶道部	天野 勝美	短歌部	花田 規矩男
社会部	小笠原 博慧	ダンス部	加藤 幸一	ダンス部	若野 康子
料理部	加藤 直子	コーラス部	佐々木 加代子	コーラス部	高島 千香
カラオケ部	新海 友也	水墨画部	水越 夏絵	フラダンス部	カレイアハヒナ大鶴

いつまでも自立した生活を！入学をお待ちしています。

●お問い合わせ 老人大学事務局 電話23-2001(代)  
(社会福祉協議会内) 黒部・安藤(史)

# 大月市地域福祉推進大会

を開催しました。

## ◎表彰受賞者

(順不同・敬称略)

### ■大月市社会福祉協議会会長表彰

◎社会福祉事業功労者

- ・藤本 篤子 (大月町真木)
- ・永井 和子 (大月町真木)
- ・梅澤 久子 (大月町真木)
- ・星野 恭子 (大月町真木)
- ・小林 君代 (大月町真木)
- ・小林 治子 (大月町真木)
- ・長田 かほる (大月町)
- ・佐々木 力 (富浜町)

### ■大月市社会福祉協議会会長感謝状

◎金品寄附

- ・紅富士太鼓 (代表 石岡 博美)
- ・公益社団法人 大月法人会 (会長 細田 幸次)
- ・大月市仏教会 (会長 内藤 弘行)



▲表彰受賞者の皆さん (記念撮影時、マスクを外していただきました)

11月27日(金)大月市総合福祉センター6階多目的ホールにおいて、第45回大月地域福祉推進大会を開催しました。本年度の大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を被表彰者に限定した中で、表彰式のみを行ないました(表彰受賞者は下記のとおりです)。例年のように、市民会館の大ホールで、多くの市民の皆さんの参加のもとに大会を開催することはできませんでしたが、いま、地域における福祉活動などが、これまでのように出来ない状況が続いており、実施方法の変更や工夫などが必要となっております。これまで経験したことのない状況ではありますが、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを推進できるように、みんなで知恵を出しあっていきたいと思います。

地域での懇談会や大会等のイベントが開催できるようになりましたら、参加をよろしく願います。

ふれあい充実!地域に開かれた保育園を目指して!

## ゆうぎ会が開催されました!

当園を社会福祉協議会で運営するようになってから、早いもので15年が経とうとしていきます。

去る12月5日、ふたば保育園最後となる『ゆうぎ会』が開催されました。子どもたちは、元気いっぱい楽しみながら踊りや音楽劇などを披露してくれました。ゆうぎ会を通して大きな成長を見せてくれた子どもたちです。

## こんにちは!ふたば保育園です



## ありがとう!ふたば保育園!!



ゆうぎ会の様子  
(大月市総合福祉センター)





ご存じですか？社協のマーク？  
このマークは、社協の「社」を  
図案化し、「手をとりあって、  
明るいまわりの社会を建設す  
る姿」を表現しています。

## CONTENTS

### 特集

地域活動の活性化と持続性……	2
ボランティアだより ……………	6
老人大学5 2期生募集 ……………	8
掲示板 ……………	9
地域福祉推進大会の報告……………	10
ふたば保育園「ゆうぎ会」……………	11
おおつきで頑張る若者……………	12

### << 編集後記 >>

新たな年を迎え、皆さん、いかがお過ごし  
でしょうか。

さて、今号の特集では、地域活動の活発化  
と持続性をテーマとしました。コロナ禍で厳  
しい状況が続いてはいますが、これまで経験  
したことがない、この状況をみんなで乗り越  
え、その後、この経験を必ずプラスにもって  
いくことができるようにしていきたい！と強  
い願いをこめたものでもあります。

皆さんにとって、令和3年が良い年になり  
ますように、心からお祈り申し上げます。

(広報委員会委員 蔦木)



この「社会福祉・ボランティアだ  
より」の発行費用の一部は共同募  
金の配分金が使われております。



- 現在？  
TSR合同会社で、とび職をしています。
- 趣味は？  
映画鑑賞。そして、お酒も好きです(^^♪)
- 尊敬する人は？  
父です。父のように早く一人前になりたいです！
- 仕事をしていて本当に良かったなと思うときは？  
現場に入った監督さんや施主の方に「きれいな足場だね！」とほめて  
もらった時、やりがいを感じます。また、ハードな仕事なので、帰宅  
してから飲むビールは最高です！

今すぐアクセス！

大月市社協

検索

#### 事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」

介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132

ふたば保育園

〒409-0623

大月市七保町葛野 2783 番地

電話・FAX0554-22-3508